

科目名		学年	
総合演習: General Practice		1PD	
教員名		専攻科担当教員	
単位	授業時間	科目区分	授業形態
2	200分×15回	必修	実験・後期
授業概要	技術者として、限られた条件下で社会から要求された“もの”をデザイン(立案)する能力が求められる。本演習では、本科並びに専攻科で修得した複数の知識を応用し、創造性を発揮して要求される“もの”を立案することを目的とする。工学複合実験で作成した企画書に基づき、チームでコミュニケーションを取りながら取り組み、コスト等の制約条件や自然・社会への影響を考慮しながら、解としての“もの”を実現することを目指す。立案した“もの”について報告書にまとめ、報告会で発表する。		
到達目標		評価方法	配分
(1)企画書に基づき、着実に実行することができる。また遅れや問題が発生した場合には新たに対策を講ずることができる。		月報、担当報告書により評価する	30%
(2)複数の知識・技術を駆使して“もの”をデザインすることができ、その成果を報告書にまとめることができる。		作品報告書により評価する	50%
(3)デザインした“もの”について分かりやすく説明できる。		報告会により評価する	20%
学習・教育目標	(C)③,(D)③	JABEE基準1(1)	(d)-(2)-c),(e),(g),(i)
<b>内 容</b>			
授 業 計 画	<p>【第1回】 第1回(企画書発表会)は、工学複合実験で作成した企画書に基づき、背景、目標、主要課題とその対策について説明し、“もの”を開発・製作するための実施項目について役割分担と実施スケジュールを説明する。</p> <p>【第2回～13回】 企画書での実施計画に基づき“もの”の開発・製作を行う。 尚、毎月末には月報及び担当報告書を作成して進捗状況を自主的・継続的に確認し、遅れや問題が発生した場合にはそれに対する対策等を新たに講ずる。 第8回(中間報告会)で進捗状況を報告する。</p> <p>【第14回】 最終報告会を行う。</p> <p>【第15回】 まとめと授業アンケートを行う。</p> <p>【各科の演習テーマ】 機械工学科 ・板かまぼこのダレ防止方法と性能試験(藤田活) ・太陽光追従型街灯装置の製作(徳永仁) 電気工学科 ・デジタル・アナログ混在電子回路の設計と製作(西田) ・C言語やVBを利用したプログラムの作成(成島・中島) 制御情報工学科 ・マイコンを用いた教材開発(江原) 物質工学科 ・食べる茶葉の開発(山崎)</p>		
	自学自習の内容	製作品および作品報告書の作成を行わせる。	
関連科目			
教科書			
参考書			
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートをおこなう。		
副担当教員			
備考			